

## はたらく女性の異業種交流会（上田会場） 開催結果概要

### 1 開催趣旨

県内企業等で働く女性や女性リーダーが、自分らしい職業生活を実現する上での悩みや課題、提案等について、異なる業種や役職間においても自由に意見交換するとともに、働く女性は、ロールモデルを学び、女性リーダーは、マネジメントや次世代リーダーの育成等に向けたヒントを得ることで、組織における働きやすい環境づくりに向けた気運を醸成する。

### 2 日時

令和7年8月8日（金） 10：30～15：30

### 3 場所

サントミュージゼ 大スタジオ（上田市）

### 4 参加者

県内の企業や自治体等に勤務する女性 64名（働く女性42名、女性リーダー22名）

### 5 内容【ファシリテーター イーキュア（株）登内氏、羽生氏】

#### ① 個人ワーク

テーマ：自分らしく職業生活を送るために

#### ② 働く女性と女性リーダーそれぞれの立場で以下テーマに沿ったグループワーク

働く女性：働きやすさのある職場にするために

働きがいのある職場にするために

女性リーダー：女性リーダーならではの悩み

次世代リーダーを育てるために

#### ③ 働く女性と女性リーダー立場を超えたグループワーク

テーマ：働く女性と女性リーダーが互いに聞きたいこと、相談したいこと

### 6 参加者の主な意見

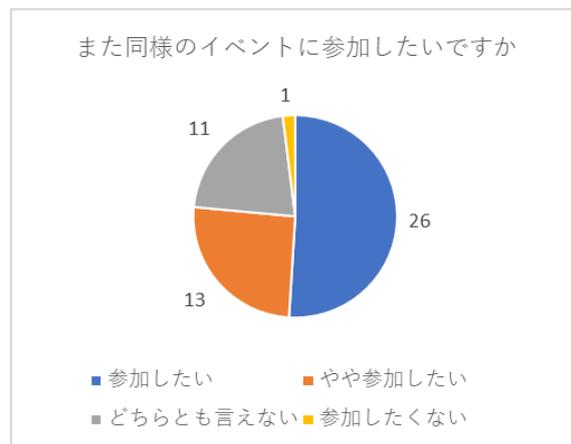
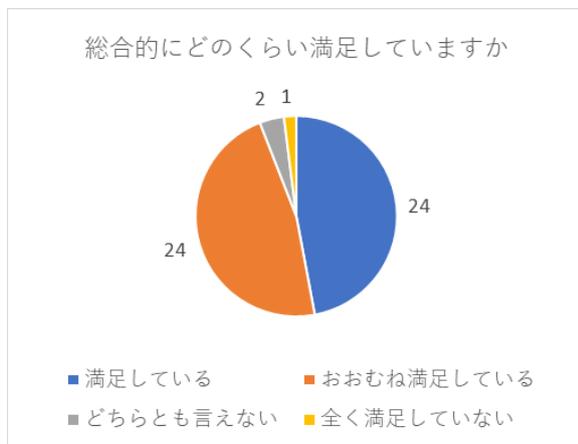
#### （1）参加した感想

- ・多くの女性が参加し、率直な意見交換ができた。
- ・リーダーと、働く女性に分かれたディスカッションから、合流してそれぞれの立場の意見交換をした企画はとてもユニークで、有意義だった。現状の企業や組織の中で、働く女性たちが役職に就きたくない、つけないと感じている生の声が聴けました。経営側の方たちにもぜひ改善のために取り組んでほしいと感じた。
- ・普段なかなか他の企業の方とお話する機会がないため、お互いに悩みを共有できた。また、自分では考えもつかなかった実施事例やアドバイスもいただけて大変勉強になった。
- ・時間が短く各々の意見をゆっくり聞くことができず残念だった。

## (2) 「女性が、長野県で働き、暮らし続けたい」と思ってもらうために必要だと考えること

- ・管理職の方の考え方や、女性部下との向き合い方を勉強する機会があればいいと思う。
- ・女性が働きやすくなるためには、女性自身の努力だけでなく、男性の理解も必要と感じた。
- ・女性ならではの視点を導入出来る会社の取組。
- ・会社規模や業種により実現可能な施策には差があるものの、「男性だから」「女性だから」ではなく、能力や成果に基づき公平に評価される環境づくりの重要性を改めて感じた。
- ・企業においても、意思決定の場で女性が発言できる状況をつくり、女性の声が企業の上層部にも届くようになっていくことで、女性の働く環境や、モチベーションも変わると思う。
- ・上司の方には、女性に対しても戦力として育てる意識で、しっかり指導し見守るようお願いしたいと思う。きちんと評価されることにより、意識が大きく変わると思う。
- ・今回の交流会の中から出てきた課題（仕事が忙しすぎる、自由に意見を言い合える組織など）は、経営者、経営幹部に知ってほしい内容だった。また、現場の業務を担う女性から管理職になりたくないという声が多きだされ、とても残念に思った。
- ・今回のメンバーに、男性経営者を交えた会議や、子育て世代の男性を交えた本音ディスカッションなどがあると、より理解が深まったり、次の施策が見えてくる可能性もあるのではないかと思った。
- ・男性の多い会社では、女性が上長に相談しやすい環境づくり（男性の理解を高める）が必要。

## 7 参加者アンケート



## 8 当日の様子

